

職員による自己評価

- A 環境面
 - ・整っていると思っている職員は居ない
 - ・特に職員の配置数に対しては 100%の職員が不足している指摘
- B 児童への支援内容
 - ・日々の反省会が出来ていない
 - ・記録はあるが検証出来ていない
- C 関係機関との連携
 - ・不十分であると考えている人が多い
- D 保護者への説明責任・信頼関係
 - ・父母の会，保護者同志の支援が出来ていないことを理解している
- E 非常対応
 - ・非常用マニュアルの不備は判っている
 - ・食物アレルギー，虐待防止は出来ている

保護者による評価

- A 環境面
 - ・職員の人数が足りていない (75%)
 - ・バリアフリー，スペースが不十分と考えている (70%)
- B 児童への支援内容
 - ・プログラムは良いと答えている (9割以上)
 - ・具体的な支援内容を提示して欲しい (一名)
 - ・ニーズを出したことがない (一名)
- C 事業所からの情報発信
 - ・面談 (保護者会) が無い事を不満に思う (75%)
 - ・親の方が支援の助言が出来る
 - ・人員不足・伝達部読 (各一名)
- D 非常対応
 - ・非常時のマニュアルの情報共有の不安を感じる (25%)
 - ・訓練については実施されている (92%)



事業所内での分析

- 【共通点】
 - ・職員数への不安
 - ・プログラム内容は充実している
 - ・防災マニュアルの不備
 - ・保護者同士の繋がり (父母の会) が無いこと
- 【相違点】
 - ・環境面は保護者より、職員が整っていないと感じている
 - ・家族への説明を職員は果たしていると考えているが、保護者からは右側と考えられていた

分析・検討してみて…

事業所の強み

プログラムの充実度

事業所の改善点

職員数の拡充（求人中）
毎日の反省会・検証
保護者同士の支援（研修も）
非常時マニュアルの完備
施設内のバリアフリー，スペース

事業所改善への取り組み

- ・日々の反省と検証のための時間のやりくり、方法を考える
- ・各マニュアルを早急に整える
- ・保護者会の前段階として茶話会をセッティングする

～自己評価を行っての事業所としての感想～

ハード面では法人に訴えていかなければならない所がある
プログラムに対しては評価して頂いているので工夫を続けていく

事業所名 旭もえぎ
担当者 丸山 美鶴